なぞり書き 009　和歌をなぞろう

carepoke

薄い文字をゆっくりなぞりましょう

わが庵は
都のたつみ
しかぞすむ
世をうぢ山と
人はいふなり

作者： 喜撰法師　｜　年代： 平安時代前期　｜　出典：『古今和歌集』・『小倉百人一首』8番

意味

私は都の東南にある宇治の山で、静かに暮らしています。
それなのに、人は世の中が嫌になってここに住んでいると言っている、という歌です。

